

# ちゅーりっぷ

所長 小池袈裟光



今年は開所記念日が日曜日だったので、少し早めて5月2日に、開所3周年記念のお祝い会を開きました。まだコロナ規制の解除前だったので、内輪だけでささやかなお祝い膳をいただき、3周年のお祝いをしました。

例えば「ちゅーりっぷ」開所以来ずっとコロナ禍の3年間でした。開所前に予定していた仕事は、開所時にはほとんど無くなり、リサイクル、廃食用油収集運搬、箱折の仕事だけでの船出となりました。3年間、職員と利用者一丸となって努力し、内部の仕事（部品、段ボール、ダイレクトメール、梱包、電線等）そして外部の仕事（庭園整備、農業、薪、市役所関係、食堂、ポスティング、清掃等）も大幅に増加しました。



3周年記念

はい、チーズ



動物園

その結果、昨年度の「ちゅーりっぷ」平均工賃は21,176円となり、3年目で初めて長野県平均16,930円を大幅に上回ることが出来ました。本当にありがとうございました。職員も1名増え支援体制も整い、「ちゅーりっぷ」の基盤もこの3年間でかなり出来上がったように思います。

開所以来ずっとコロナ禍でもあり、行事らしい行事が出来ませんでした。コロナの規制も解除になった6月14日に「茶臼山動物園見学と焼肉ランチ」を企画しました。大型バスをチャーターし、初めてのバス旅行で、曇り模様の天候も吹き飛ばすようなハイテンションで出発しました。当日は、利用者Oさんの20才の誕生日で、バスの中でみんなの大きな拍手でお祝いをしました。



バス

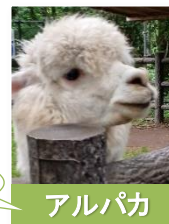
動物園では普段見られない大きな動物、ライオン、トラ、キリン、ゾウに大きな歓声、レッサーパンダやアルパカに「可愛い」と熱心に見学し、1時間半アップダウンの多い園内を回りました。

その後、お楽しみの、焼肉食べ放題の昼食です。結構歩いたのでお腹も空いており、全員たくさん食べ、おいしい食事を満喫しました。本当に楽しい行事となり、多くの人から「またやりたいね」と催促されました。

7月には、利用者と職員数名がコロナに感染し、7月18日から1週間、「ちゅーりっぷ」を臨時休業としました。私自身もコロナ感染に引き続き肺炎になってしまい、「ちゅーりっぷ」の皆さん、関係者の皆さんには大変ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。

3週間ほど安静のため床に伏している時に、何冊かの本を読みましたが、その中に「自分を成長させるために病気をしている。持っているエゴを全部取り去り、無力な自分というものを体験するために、病気をやらされている。」とありました。病気にも感謝です。

動物園では普段見られない大きな動物、ライオン、トラ、キリン、ゾウに大きな歓声、



アルパカ



ライオン

かわいいね

## 楽しく過ごしております

目標工賃達成指導員 塚原申一郎

定年後の残りの人生どうしたものかと思っておりましたところ、以前、同じ町内にグループホームがあった縁で、「ちゅーりっぷ」で働くことになりました。

障害のある方たちと一緒に作業をしながら支援する立場なのですが、いつも思うことは「私自身が利用者さん方から支えられているな」と感じることです。

ぶどう一房を収穫するにも、人一倍喜びの歓声をあげ、屈託ない笑顔を見せます。そんな彼らに人間本来の姿が重なって見えるのです。

ですから、「ちゅーりっぷ」の一日の終わりのあいさつは「今日もありがとう」なのでしょう。